



教育目標～夢をもち 心豊かに ともに未来を切り拓く～



きたおか

令和4年(2022年)9月15日
豊中市立北丘小学校
学校だより NO. 9

秋の気配が感じられます。

日中はまだまだ日差しも強く、蒸し暑いですが、朝晩は過ごしやすくなってきました。秋の虫の声も聞こえてきます。自然豊かな本校では、子どもたちが大きなバッタやカマキリを追いかける姿も見られます。

新型コロナウイルス第七波も少し落ち着きを見せてきたように見えますが、油断は禁物です。引き続き基本的な感染防止対策をこころがけていきたいものです。

また、2学期が始まって3週間がたち、子どもたちは集団生活のリズムを取り戻し元気に学習活動に励んでいます。季節の変わり目でもありますし夏の疲れも出るところですので、ご家庭におかれましても、お子様の体調や心の様子に気を配っていただき、お気づきのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



「人権に関する授業参観」

「人権」と聞くととても難しい感じがしますが、まず、普段から皆様が願い、心がけておられることではないかと思います。「人権」をわかりやすく言い換えると、様々な表現ができると思いますが、「だれもが安心して幸せに楽しく暮せること」や、「自分自身をはじめ、まわりにいる人を大切にすること」と言い換えることができると考えます。おもいやりやSDGsの17の目標も人権につながります。

学校では、こどもたちが安心して学校生活を送れるように、いろいろな方法でアプローチをし、その実現のための実践を行っています。例えば、失敗しても笑われない、話を最後まで聴く、うなずきながら聴く、などあたたかな聴き合いが成立する授業実践への努力や、おはよう・ありがとう・ごめんねという言葉を大事にし、また、お互いに否定しない、一人ひとりのもちあじを大切にすることによる関係づくりなどが挙げられます。各学年目標や学級目標にも人権につながる思いが込められていますし、もちろん、第八中学校区の共通学校目標である「自分と他者の命を大切にする子」は、人権的視点の願いです。

人権参観は、そのような学校での日々の日常の様子や取り組みを参観していただくとともに「一人ひとりが安心して暮らすためには」「一人ひとりを大切にするには」ということをおうちの方々も一緒に考えましょう、という参観日です。ぜひお子様とともに「人権」について思いを巡らせる機会としていただきたいと思いますと考えております。



違いを豊かに・・・



新学習指導要領では、これからの子どもたちが「個人的にも社会的にもよりよく幸せに生きること」(Well-Being)を目指しています。北丘小学校では国際理解教育の一つとして子どもたちが、この9月に、桃山学院教育大学 人間教育学部人間教育学科 准教授のオチャンテ 村井ロサ メルセデスさんから聞き取り学習をしました。

オチャンテ先生が、日本に来ることになった経緯や 15 歳から日本語を学んだことなど、これまでの道のりのお話を聴くことから、日本で暮らす外国の方の気持ちや願いについて考えました。オチャンテ先生から、子どもたちに「外国で学ぶ子どもたちは、どのような体験・問題・ストレス・悩みをかかえているでしょう。」という問いが出されると、子どもたちからは、「文化の違い、読み方を間違える不安、友だちづくりについての不安、授業の内容についていけるかどうか、差別や仲間はずれにあうのではないかと不安、買い物の仕方や漢字が分からないという困りごとがあると思う。」という反応がありました。

また、オチャンテ先生は、子どもたちがスペイン語での算数の授業を受ける、というワークも行ってくださいました。このワークでは、「今回はみんなスペイン語が分からない状況です。でもみんなが分かっている中で自分だけが言葉が分からなかったらどうかな？」という問いがありました。そして、「みんなが笑っている中で、自分だけがなぜ笑っているのか分からなかったら、自分のことを笑っているのかな、と不安になるよね。」と仰っていました。

最後に次のようなメッセージをいただいて、聞き取り学習の授業は終わりました。「言葉が分からないということや見た目の違いから、いじめや差別に遭うのではないかと不安があります。外国では、いじめを見たら、それはだめだよって言います。みんなは言えるかな。勇気を出して、だめなことはだめって言ってほしい。私は、みんなから助けってもらったおかげで日本にいて、日本で暮らす外国の人の支援をしています。文化の違いを越えて、交流しましょう。」

修学旅行いってきます！

6年生が、一泊二日で広島に修学旅行へ行ってきます。訪問地は、広島平和記念公園・資料館と蒲刈島です。一日目は、原爆ドームや平和資料館を見学し、平和を願うセレモニーとして、千羽鶴を寄せて「平和の鐘」を歌います。二日目は、蒲刈島特産の藻塩づくりにチャレンジし、瀬戸内の自然に親しみ、カッターボート体験から「協力」について学びます。

生命の尊さを知り、平和を願う心を育み、自主・協調・責任という集団生活の総仕上げ、そして友だちと寝食を共にすることで友情を深める、という目当てをもって安全に行ってまいります。



学校のみんなで鶴を折りました。